

行動

- ・ 反応が鈍くなる。
→名前を呼んでもすぐに寄って来なかったり、玄関に人が来たり物音がしても反応しなくなります。
- ・ 散歩の足どりがぎこちない。
→足腰の筋力が弱るため、長時間の散歩をすると足どりが重く、ヨタヨタと歩くようになります。

<その他>

- 食欲の減退・異嗜
- 攻撃行動や不服従の増加
- 不適切な場所で排泄してしまったり、排泄が困難になるなどがあります。



☆犬の老化の目安 チェックリスト☆

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 反応が鈍くなった | <input type="checkbox"/> 眼球に曇りが出るようになった |
| <input type="checkbox"/> 動きが遅くなった | <input type="checkbox"/> 毛につやがなくなった |
| <input type="checkbox"/> 食欲がなくなった | <input type="checkbox"/> ケガをしやすくなった |
| <input type="checkbox"/> 口臭や体臭がより強くなった | <input type="checkbox"/> 失禁するようになった |
| <input type="checkbox"/> 目ヤニがよく出るようになった | |

いかかでしたでしょうか？次回は高齢犬・猫の家庭内でのケアについてお届けします。

院長のコラム

ツシマヤマネコを見てきました。

長崎県対馬には、天然記念物に指定されているヤマネコが現在約80頭生息しております。手厚い保護にもかかわらず生息数は減少しております。飼い猫からの猫エイズの感染も確認され危機的状態にあり、環境省も保護センターを設け、個体調査、事故猫の治療などをおこなっております。対馬の自然は素晴らしく人の生活との調和がヤマネコの絶滅を食い止めております。しかし餌場に現れたヤマネコは、そんな特別な猫ではなく少し耳の丸いキジ猫で近所の野良ネコとそう変わりはありませんでした。



年をとったなあと思ったら Part 1

ペットの世界にも、私たちと同じように高齢化の波が押し寄せています。

今回は、家庭内での早期発見のために一緒にチェックしていきましょう！



☆ 高齢犬・猫って？ ☆

高齢の定義は難しいですが、体内代謝が変わり始める時期として、一般的には7歳以上を「シニア」と呼びます。

犬・猫の年齢を人間の年齢に換算するとイメージしやすいですね。

猫、小・中型犬 年齢 = 18 + 5(x - 1)

大型犬 年齢 = 18 + 6(x - 1) x = 犬・猫の年齢

☆ 老化のサイン ☆

こんな様子がみられたら、シニアの仲間入りかも！

外見

- ・ 毛が薄くなり、白髪が増える。
→老化とともに全身の毛が薄くなり、つやもなくなります。顔面を中心に毛の色素が失われて白くなります。
- ・ 皮膚が乾燥してくる。
→皮膚の表面の水分量が減るため皮膚が乾燥し、弾力がなくなります。

<その他>

- 目ヤニがよく出るようになった
- 眼球に曇りが出るようになった
- やや太ってきたように感じる
- 歯の色が黄色っぽく変色してきたなどの外見的变化があります。